

ペンステモン カリヨ・シリーズ

学名: *P. x-mexicali*

種子粒数の目安: 1,800 から 2,400 粒/グラム

開花特性と要因

- 初年開花の特性を有する宿根品種です
- バーナリゼーション(低温処理)不要の品種です
- 日長時間との関係は条件的長日植物です
- ユニークで人気のある初夏のアイテムです
- 花期が長く耐暑性もある品種です
- 視覚的にとても特徴があり、人目を引きま

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しいプラグ用培地を使用する。培地の pH は 5.8 から 6.5 の範囲、また EC は .75mmhos/cm(1:2) とする

播種

288 穴、またはそれよりも大きな容積のトレイに 4 粒播種する。播種後は殺菌剤を散布し、覆土はしない

ステージ 1 - 発芽日数は概ね 3 から 6 日

地温: 18 から 20°C

光条件: 発芽には光は必要ないが、あれば効果がある

水分: 培地の水分レベルを適度な湿潤(level 4)から標準/中庸(level 3)で維持する

湿度: 幼根が発生するまでは相対湿度を 95 から 97%とする

ステージ 2

地温: 18 から 20°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: 水分レベルを少し下げて、標準/中庸(level 3)として、根が培地中をしっかりと行き渡るように促す。培地を完全に乾燥させないように注意する

肥料: リン酸の低い硝酸態の肥料をレート 1(100ppm (N)以下、EC:0.7 mS/cm 以下)の濃度で与える

ステージ 3

地温: 16 から 18°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: 一貫して標準/中庸(level 3)維持する。極度の過湿や乾燥は避ける

肥料: ステージ 2 同様、リン酸の低い硝酸態の肥料をレート 1(100ppm(N)以下、EC:0.7mS/cm 以下)で与える

矮化剤: 丈の制御は不要である。ただし、B ナインを用いると後のステージで株の質感に効果がある。播種後、1 週間から 10 日後に 2,500ppm 散布する

ステージ 4

地温: 16 から 18°C

光条件: 温度条件が適正であれば、53,800 ルクス(5,000 f.c.)まで可能

水分: ステージ 3 と同じ

肥料: 肥料の濃度をレート 2(100 から 175ppm (N) ,EC: 0.7 から 1.2mmhos/cm)に上げる

鉢上げから出荷まで

コンテナサイズ

10.5 から 13cm ポット: 1 本(1 プラグ)植え

用土(培地)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.5、また EC は 1.2mmhos/cm とする

低温処理(バーナリゼーション)

開花の誘因には不要

温度

昼間温度: 18 から 22°C

夜間温度: 14 から 15°C

光条件

補助的な電照等は不要である

日長条件との関係

カリヨ・シリーズは条件的長日植物です。長日ではなくても開花しますが、12 時間ないしそれ以上の条件でより早く開花します

かん水

一貫して標準/中庸(level 3)から適度な乾燥(level 2)を維持する。カリヨの根系は繊細で、過湿あるいは強い乾燥ともに影響を受けやすいので注意する

肥料

レート 2 からレート 3(150 から 225ppm(N)、EC:1.1 から 1.5 mS/cm(1:2))の中位からやや高い濃度の硝酸態肥料を与えます。アンモニアレベルの高い肥料は与えない

矮化剤(PGR)

先に提示した低温の条件で育てられるのであれば、通常は丈の制御は不要である。ただしペンステモン *mexicali* は、移植後の初期段階において、B ナインによく反応することが確認されている。移植後 10 日から 14 日の時点で、2,500ppm で処理を行う。必要であれば、温度や日照、また生育の具合を見ながら、だいたい 10 日後に再度処理を行う。矮化剤による反応は、移植後ひと月ほど経ってから現れはじめる

※ ボンザイは効果を期待できないだけでなく、株の中央が開いて仕上がりが粗い草姿になるので、使用は避けましょう。また早い段階で徒長することもあります

ピンチ

ピンチは不要である。ただし、鉢物用に分枝を充実させるためには、移植後 1 週をめぐりにピンチします。ピンチをすると、仕上がりまで 3 から 5 週ほど長くなるので注意しましょう

スペーシング

隣の株の葉が触れはじめたらスペースをとるようにしましょう

平均的な生産期間

播種から移植まで(288 穴トレイ): 6 から 8 週

移植から開花まで:

- レッド、パープル: 12 から 14 週
- ローズ: 13 から 15 週

播種から開花まで:

- レッド、パープル: 18 から 22 週
- ローズ: 19 から 23 週

※ 大きなサイズのプラグトレイや(仕上げ)ポットを用いる場合や、低温、ピンチまたは矮化剤などの使用によって、生産期間が上記よりも長くなる場合があります

一般的な作型

播種: 1 月上/中旬 → 開花: 5 月から 6 月
【ただし、北西ヨーロッパのような気候条件において】

病例等

害虫: アブラムシ、ハダニ、ホワイトフライなど

病気: ウドンコ病など

定植場所や配置について

- カリヨ・シリーズは、初年開花の耐寒性宿根品種。USDA の耐寒性指標ではゾーン 5-7(最低温度マイナス 29°C)
- 花壇定植の場合は、水はけのよい土に 20 から 25cm の株間で植えつける

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

EC 値について: EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合もあります。